



新年のご挨拶

特定非営利活動法人 せんだい杜の子ども劇場
代表理事 阿部 清人
(株式会社 MCラボ代表取締役)

新年おめでとうございます。

昨年末の総会で役員改選、その後の理事会で新たに代表理事となりました。

退任、継続理事の方々には、これまでのご尽力に心より感謝を申し上げます。新理事の皆様も迎え心強いです。

「子ども劇場」とは、泉子ども劇場の時代から関わり、振り返りますと25年ほどになるようです。当時は、fmいずみに勤務しており、毎週1回ラジオ番組へ会員の方々に出演いただき、子ども劇場の活動情報を伝えてもらったのが始まりです。その頃は、我が家の子どもたちも演劇鑑賞や、キャンプなどへ参加していて、とても楽しそうだったことを覚えております。イベントでユアテックススタジアムから公開生放送をすることになり、斎藤純子専務理事に出演してもらい、あの大型スクリーンに純子さんの顔が大写しになったこともありますよ。

その後、東日本大震災の経験をきっかけに、数年前に独立起業しました。ラジオはfmいずみで毎週木曜日の朝に防災・科学をテーマとした番組を継続しています。現在のメインの仕事は、防災・科学教育事業です。楽しい科学実験を交えた講演の「サイエンスショー」をしています。ラジオのアナウンサーと防災士の経験を活かして、難しいと思われがちな科学のことを分かりやすく、楽しく伝えています。そのなかでも、防災をテーマとしたサイエンスショーの「防災エンスショー」に力を入れています。

震災の経験をきっかけに起業と前述しましたが、大きく2つあります。1つ目は、災害情報を発信したことです。停電のなか、食料はどこにある、給水車はどこにくる、ライフラインの復旧はいつ、などの生活情報を伝えました。「情報は命を救う」ことを知ってもらいたいと考えました。2つ目は、防災教育の機会を増やす必要性を痛感したことです。

震災の前にもっと多くの方々へ、もっと大きな声で防災を伝えておけば良かったという後悔の念です。関心をもってもらうために科学実験を交えて、伝えていくスタイルを取り入れました。この二つのことを、ラジオという媒体の枠と地域の枠を超えて活動していきたいとの思いがありました。取り組みは、マンネリしがちな防災訓練、自治体の防災意識啓発活動、子どもから大人までの防災教育に活用いただき、おかげさまで、全国各地へ出向く機会をいただいています。東北福祉大学防災土養成研修講座講師として災害情報を担当しています。去年は、テレビ朝日の全国放送「林修の今知りたいでしょ」2時間スペシャルでスタジオ出演し、災害のメカニズムの解説、科学実験を女優の菅野美穂さんらに体験してもらいました。菅野美穂さんは、とてもおきれいな方でした！！

さて、サイエンスショーが「講演」ではなく「公演」と記されることも増えました。実は、学校の「芸術鑑賞会」で依頼されることもあるのです。保護者向けの科学する心を育てる講演もしています。あれ??いつの間にか自分の活動が、せん杜の「舞台芸術鑑賞」や「異年齢の子どもたちが様々な体験ができる場づくり」「子育て支援」等の事業に近づいてきたようです。引き寄せの法則でしょうか。コロナ禍を経て、世の中は変わりました。目まぐるしい変化にも柔軟に対応しつつ、ブレていけないところはしっかりと守っていきます。

皆様、どうぞ、よろしくお願いいたします。

